

平成21年2月12日開催  
調査

# 経済福祉常任委員会資料

## ○調査事件

### 1 生活排水等の現状と課題について

住民グループ・企画グループ

## 調査事件 1 生活排水等の現状と課題について

### 1. 生活排水の現状

当町は下水道が未整備であり、生活排水の処理は合併処理浄化槽のみの処理となっています。平成 21 年 1 月 31 日現在の合併処理浄化槽利用人数は 740 人となっており、総人口 5,459 人の 13.5%となっています。

表 1 浄化槽の設置状況 (H21.1.31 現在)

区 分		設置基数 (基)	人槽数 (人槽)	利用人口 (人)
合併処理 浄化槽	一般住宅	45	428	121
	共同住宅	10	876	473
	公共施設等	24	2,031	—
	計	79	3,335	594
単独処理 浄化槽	一般住宅	38	356	105
	共同住宅	9	195	41
	公共施設等	16	1,158	—
	計	63	1,709	146

※現在は単独処理浄化槽の設置は認められておりません。

### 2. 生活排水等の放流先 (都市計画用途地域内)

当町の都市計画用途地域内の人口は約 3,109 人 (H21.1.31 住基人口、三岳 1 地区全人口) で全人口の 76%を占めています。また、区域内には 7 つの水産加工場が操業しています。これら生活排水等の放流先は、福島川、福島漁港内及び海岸となっており、それぞれの放流先人口と水産加工場数の推計数は次のとおりです。〔福島町市街地排水経路図による・・・P 3〕

表 2 生活排水等の放流先

(単位：人、世帯、社)

放流先	地 区	人 口 (世帯)	水産加 工 場	備 考
福島漁港内	日向 3、福島 4、福島 3、 福島 2 の一部、館古の一 部、福島 1 の一部	620 (291)	2	福島 2、館古、福島 1 の一部 を 50%と想定し、残り 50% は福島川への放流とした
福 島 川	月崎 1 の一部、月崎 2 の 一部、丸山団地、緑町、 新栄町、三岳 1 (福島 2 の一部、館古の 一部、福島 1 の一部)	1,961 (870)	4	月崎 1、月崎 2 の一部を 50% と想定し、残り 50%は海岸 への放流とした
海 岸	日向 1 (月崎 1 の一部、月 崎 2 の一部)	528 (217)	1	
計		3,109 (1,378)	7	

### 3. 生活排水等の課題

当町の生活排水等の浄化対策に対するこれまでの取り組みは、平成 11 年度に「福島町公共下水道基本計画」を策定し、都市計画区域内を中心に公共下水道を中心とした実施計画案を示し、議会とも協議を進めてきました。

議会においては、平成 12 年に「下水道事業に関する調査特別委員会」を設置し、基本計画の内容をはじめとして、合併処理浄化槽などとの事業手法の比較、今後の財政計画、住民負担軽減策のあり方などを中心とした質疑・意見交換が行われたところであり、最終的な調査特別委員会の報告は、「公共下水道や合併処理浄化槽などの手法をはじめとして、いろいろな課題の整理解決を図るため、さらに検討を重ねていく必要がある」との意見にまとまりました。

町ではこの意見を踏まえて、改めて浄化対策を検討することとし、公共下水道を中心とした実施計画案を中止したところでもあります。

しかしながら、地方財政等を取り巻く環境が急激に変化し、国の三位一体改革による地方交付税等の削減と市町村合併という大きな問題があり、浄化対策の検討を進めることができない状況にありました。

この間町では、松前町との合併協議が平成 16 年に破綻し、平成 17 年には自立プランを策定してきたところでもあります。当町の生活排水対策は環境保持の面からも重要な施策であることから、平成 21 年度にトイレの水洗化等の住民意向調査を実施しながら、次の課題を整理した中で「生活排水処理基本計画」を策定したいと考えております。

[課題]

- ①経済的で効率的な排水処理手法
- ②住民負担のあり方
- ③高齢者世帯への普及対策
- ④町の財政負担

# 福島町市街地排水経路図

S=Fire

